

コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ(改修)

7. 3. 6 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

(2) 押出成形セメント板面及び8節[耐候性塗料塗り(DP)]におけるコンクリート面の素地ごしらえは表7. 3. 6による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

表7. 3. 6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

工 程	種 別		塗 料 そ の 他			面の処理
	A種	B種	規格番号	規格名称	種 類	
1 乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2 汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3 下地調整塗り (注)1	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1,C-2 又はCM-2	全面に塗り付けて平滑にする
4 吸込み止め	○	○	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラー及び 弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー		全面に塗り付ける
5 パテしごき	○	—	JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキシ 樹脂パテ	全面をしごき取り平滑にする
6 研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120~220			乾燥後、全面を平らに研磨する

(注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。

2. 8節[耐候性塗料塗り(DP)]におけるコンクリート面の場合、工程3の建築用下地調整塗材のC-1、C-2又はCM-2の使い分けは、4. 5. 5[既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上外壁等の下地調整](ア)による。

3. 工程4のシーラー及び工程5のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。

4. JASS 18 M-201及びM-202は、日本建築学会材料規格である。

【4. 5. 5 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上げ外壁等の下地調整】

既存のコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合の下地調整は、次による。

(ア) コンクリート面の下地調整は、次による。

(a) 目違いは、サンダー掛け等により取り除く。

(b) 下地面の清掃を行う。

(c) 下地調整塗材C-2を、1~2mm程度全面に塗り付けて、平滑にする。ただし、スラブ下等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。

(d) 下地の不陸調整厚さが1mm以下の場合は、(c)の下地調整塗材C-2に代えて、下地調整塗材C-1を平滑に塗付けることができる。

(e) 下地の不陸調整厚さが3mmを超えて10mm以下の場合は、(c)の下地調整塗材 C-2に代えて、下地調整塗材 CM-2を平滑に塗り付ける。